

第11 回日本放射線安全管理学会6 月シンポジウムのご案内

日本放射線安全管理学会及び関連学会の皆様へ

拝啓

昨年、一昨年と福島県郡山市で開催してきました6月シンポジウムを、今年は3年ぶりに東京で開催することになりました。初日には昨年までと同様に福島セッションを設けて、測ること、伝えることをテーマに企画し、また二日目は一般セッションとして、日常の放射線安全管理に関わる最新情報を中心に企画しました。シンポジウムへ皆様の積極的な参加を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成26年4月22日

日本放射線安全管理学会

会長 松田尚樹

企画委員長 河野孝央

第11 回日本放射線安全管理学会（JRSM）6 月シンポジウム

主催：日本放射線安全管理学会

共催：日本保健物理学会

日時：6 月12 日（木）13:30～18:00

6 月13 日（金）10:00～16:00

会場 東京工業大学 大岡山キャンパス（西8号館10階会議室）

参加費：

日本放射線安全管理学会会員：2,000 円

日本保健物理学会会員：2,000 円

その他：3,000 円

交流会：東工大生協食堂、参加費：4,000 円（定員80名）

参加申込方法：6 月シンポジウムHP（下記）よりお申し込みください。

<http://www.symposium.jrsm.jp/2014/index.html>

参加申込締切：5 月31 日（土）

プログラム

6月12日(木) 福島セッション【測ること、伝えること】

13:30 はじめに

東京電力福島第一原子力発電所事故後の学会としての取り組み ～ これまで、と、これから

松田尚樹 (長崎大)

14:00 特別講演

座長

野村貴美

帰還に向けた安全・安心対策

田村厚雄 (内閣府原子力対策本部)

15:00 セッション1 現地モニタリングの状況

座長

河野孝央

航空機モニタリングの手法と現状 (仮題)

鳥居建男 (JAEA)

セシウムカメラ (仮題)

豊田亘博 (大阪大)

現地自主測定 of 状況 (仮題)

杉浦広幸 (福島学院大)

16:30 セッション2 コミュニケーションの困難さとその克服の試み

座長

山口一郎

コーディネーター 半谷輝己

平成25年度の厚労科研特別研究での取り組み (福島県での保育士研修など)

山口一郎 (保健医療科学院)

福島県川内村での保健師活動

折田真紀子 (長崎大川内村)

放射線・放射性物質の現場での測定活動とその課題 - 専門家の皆さん責任を果たしていますか?

布施雅彦 (福島工業高等専門学校)

18:00 閉会

6月13日(金) 一般セッション

10:00 セッション3 放射性セシウムが一般環境に存在する現状における放射線安全管理の課題

座長

三好弘一

事例報告

桧垣正吾 (東京大)

稲田晋宣 (広島大)

久下裕司 (北海道大)

- 奥田修一（大阪府立大）
- 13:00 **特別講演**
- 座長 宮川俊晴
- 電子・光子輸送計算コード EGS により見えてきたこと（仮題）
平山英夫（KEK）
- 14:00 **セッション4 最新情報のアップデート**
- 座長 矢島千秋
- J-PARC 事故に学ぶ加速器施設の安全管理の課題と対策
馬場 護（J-PARC センター）
水晶体の線量限度変更を巡って
大口裕之（千代田テクノル）
腸幹細胞を用いた低線量率放射線影響の解析
大塚健介（電中研）
- 16:00 閉会